

# SDGs の達成に向けた 美作大学・美作大学短期大学部 の取組事例集



美作大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## 美作大学・美作大学短期大学部は、なぜSDGsを推進するのでしょうか。

美作学園の建学の理念には「・・・一人の自立した人間として国際的な視点から社会に貢献できる、自由で創造的な人格の育成を目的とする・・・」ことが掲げられています。SDGsは、17の目標（169のターゲット）から構成されていますが、その目標のトップ「貧困をなくそう」「二番目「飢餓をゼロに」三番目「すべての人に健康と福祉を」、四番目「質の高い教育をみんなに」と続きます。これらは人類の生きる上で根本をなす“食と子どもと福祉”の課題であり、本学の“食と子どもと福祉”分野の暮らしを支える専門職人材育成とオーバーラップしており、建学の理念の実践でもあります。

## 人類的、国際的な視野をもって地域に新しい価値を創造する人材の育成をめざす

地方社会は、世界との繋がりを深めています。地方こそ人類的視野、国際的な視点をもって、食、子ども、福祉をめぐる諸課題、問題点の解決をめざすことのできる人材の育成が必要です。地方に立地し“地方大学の雄と呼ばれる大学”をめざす美作大学にとって必須の教育テーマと考えます。私たちは「Think Globally、Act Locally」の志を持って実践する人材育成を通して、地域社会への貢献を果たしたいと考えます。

学長 鵜崎実

## 「SDGs」とは？

今世界には77億人が暮らしています。ですが地球は様々な問題や限界に直面しています。経済、社会、自然環境...どの面をとっても問題があるのです。これらの問題と向き合うために、国連は2015年9月の国連サミットで採択され「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」、通称「SDGs」を打ち出しました。17のゴール・169のターゲットから構成され発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本でも積極的に取り組んでいます。SDGsは2030年までに達成すべき17個の目標があります。これらは地球をそして私達の世界を将来にわたって持続させるための目標です。SDGsが書かれた計画書にはその冒頭で次のように述べています。

「我々はこの共同の旅路に乗り出すにあたり、誰一人取り残さないことを誓う。」

この言葉は「普通に」に生活している人々に今一度、身の回りを見渡すことを求めるものです。

本学でもSDGsの17個の目標に向かって活動する取り組みが数多くあります。その活動をパネルにまとめましたので、ご覧いただけたらと思います。



**1 貧困をなくそう**  
**目標1 [貧困]**  
あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる



**2 飢餓をゼロに**  
**目標2 [飢餓]**  
飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する



**3 すべての人に健康と福祉を**  
**目標3 [保健]**  
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



**4 質の高い教育をみんなに**  
**目標4 [教育]**  
すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



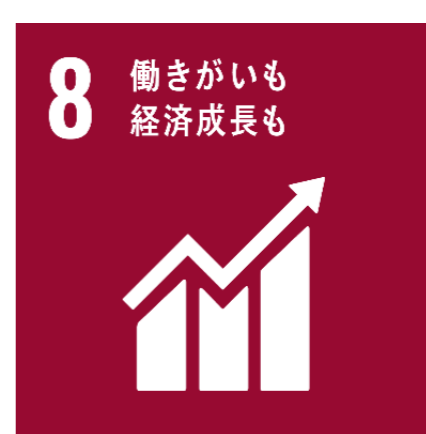
**5 ジェンダー平等を実現しよう**  
**目標5 [ジェンダー]**  
ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う



**6 安全な水とトイレを世界中に**  
**目標6 [水・衛生]**  
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



**7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに**  
**目標7 [エネルギー]**  
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



**8 働きがいも経済成長も**  
**目標8 [経済成長と雇用]**  
包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する



**9 産業と技術革新の基盤をつくろう**  
**目標9 [インフラ、産業化、イノベーション]**  
強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



**10 人や国の不平等をなくそう**  
**目標10 [不平等]**  
国内及び各国間での不平等を是正する



**11 住み続けられるまちづくりを**  
**目標11 [持続可能な都市]**  
包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する



**12 つくる責任 つかう責任**  
**目標12 [持続可能な消費と生産]**  
持続可能な消費生産形態を確保する



**13 気候変動に具体的な対策を**  
**目標13 [気候変動]**  
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



**14 海の豊かさを守ろう**  
**目標14 [海洋資源]**  
持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



**15 陸の豊かさも守ろう**  
**目標15 [陸上資源]**  
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



**16 平和と公正をすべての人に**  
**目標16 [平和]**  
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



**17 パートナリシップで目標を達成しよう**  
**目標17 [実施手段]**  
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化



美作大学・美作大学短期大学部は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



食品ロス削減サークルの活動

フードドライブ活動で集められた食品は、フードバンク岡山を通じて生活困窮者などへ配布される他、食品ロス削減サークルが主催する地域の高齢者を対象としたぽかぽか食堂や、フードバンク岡山と協力して運営している子ども食堂などで提供しています。今回、これらの活動による食品ロス削減と、地域への食品ロスの状況とその普及啓発活動の実績が認められ、第1回 農林水産省主催「第1回食育活動表彰」消費・安全局長賞に選出されました。



廃棄予定食品を大学内で呼びかけ集めたり、公民館等で地域住民の方からも集める活動をしています。



フードドライブで集まった食品を使用して地域の方に食事をふるまう“もったいないマルシェ”を大学内で開催しました。



Food bank  
 フードバンク岡山  
 フードバンク津山

届ける  
 ありがとう!

「NPO法人オレンジハートつやま」で「こども食堂」のお手伝いをしています。メニューを考案したり、調理のお手伝いをしています。



社会福祉学科の先生や学生たちが行っている「じ・ば・子のおうち」(※注)にて、活動で集めた食材で200人分のカレーライスを作りました。



食品ロス削減活動は単に無駄をなくすだけでなく、地域福祉にも非常に意義のある活動です。原田研究室では、単に学術的な研究として食品ロスを扱うのではなく、食品ロス削減とそこから広がる福祉活動を、地域を巻き込んだ活動にしていきたいと考えています。



# 食の大切さを子どもたちへ 小学校や地域と連携した 食品ロス削減への取り組み

～地域を学んでのこさず食べよう～

## 広戸小学校（津山市）や地域と連携した食品ロス削減への取り組みの目的

2020年度は岡山県事業で大学食物学科の徳広千恵研究室所属の4年生6名が食品が作られるまでの労力や食品が生まれてくる地域の土壌・気候・風土等をフィールドワークで研究し、若者の視点や発想を生かした小学生向けの教材を作成の上、小学校での出前講座等を行うことで、「若い世代の食品ロス削減意識を醸成する」ことを目的として年間を通して、取り組みました。2021年度は、徳広千恵研究室所属の食物学科4年生5名が、卒業研究としてこの事業に参加し、年間を通じて広戸小学校や地域と連携しながら子どもたちに「食」の大切さを伝えていきます。

### 2020年度の活動の様子

6月2日 町を探検！



6月4日 田植え



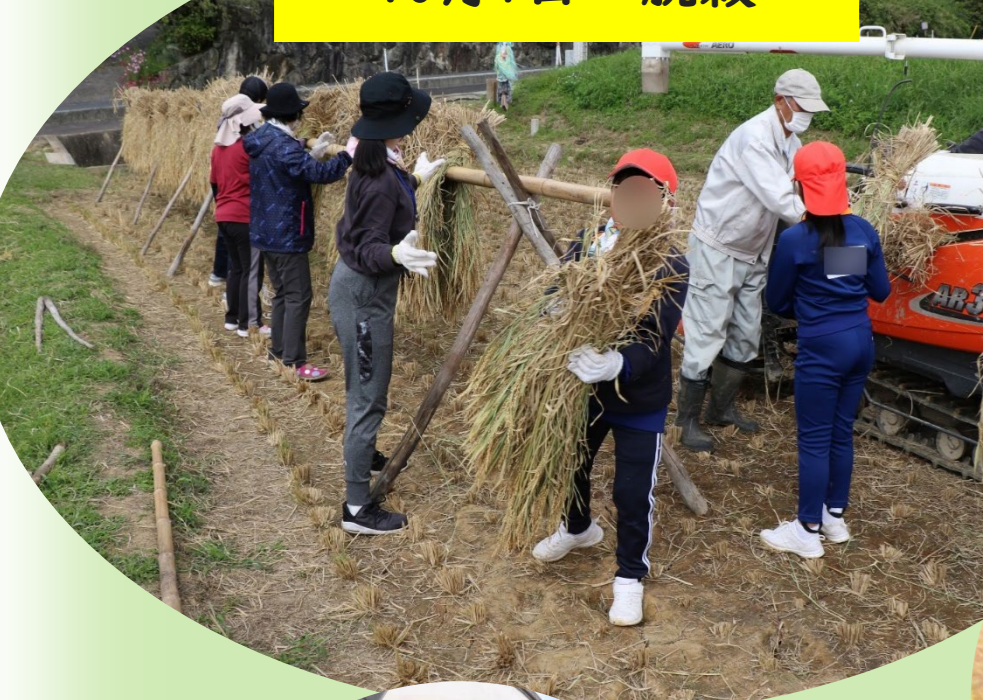
6月5日 さつまいもの苗植え



6月18日 7月2日  
みんなで給食を食べよう



10月7日 脱穀



地域の方のご協力のもと、広戸小学校で行っている、米作りや栽培、収穫体験などに参加させていただきました。手植えは初めての学生たちにとって貴重な体験となりました。

9月28日 稲刈り



7月1日 水の学習



6月18日 食育センターの見学

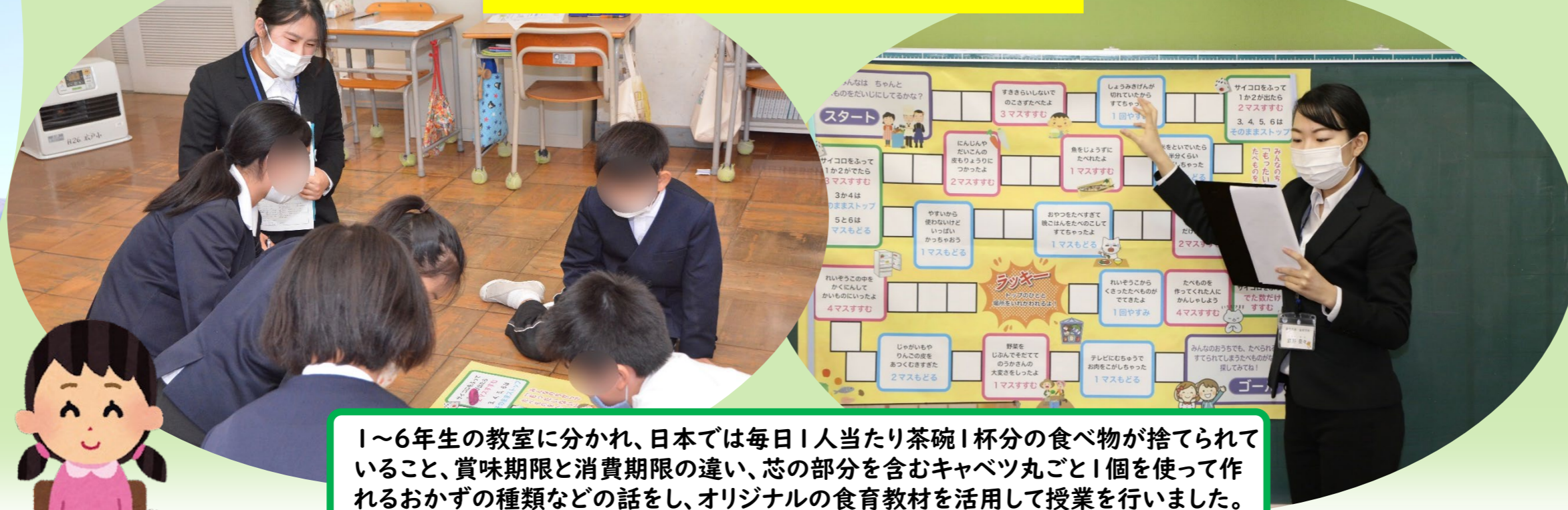


11月13日 地域の産業を学ぼう



JA勝北支所の精米工場や黒豆選果場、黒豆畑を見学しました。特産物の流通や栽培方法について学びました。

11月27日 食品ロス削減を学ぼう



1～6年生の教室に分かれ、日本では毎日1人当たり茶碗1杯分の食べ物が捨てられていること、賞味期限と消費期限の違い、芯の部分を含むキャベツ丸ごと1個を使って作れるおかずの種類などの話をし、オリジナルの食育教材を活用して授業を行いました。

広戸小学校で行っている、米作りや栽培、収穫体験などに参加させていただき、食品ロス削減に向けた出前講座も実施しました。講座に向けて「紙芝居」「すごろく」「かるた」に指導案やワークシートの作成もしました。

そして、児童や保護者、教職員の方々に食品ロス削減に関する意識調査を行いました。広戸小学校では栽培・収穫体験などを通じ食品ロスという言葉をよく知っており、食品ロス削減につながる意識を持って行動していることがわかりました。

### 2021年度の活動の様子



6月2日 田植え



6月23日 食育授業

広戸小学校での取り組みは、単に「残さず食べよう」だけではなく、フィールドワークや栽培・収穫体験をすることで地域の産業や地域の食材を学ぶこと、食べ物を大切にする心や生産者に対する感謝の気持ちを育てること、ふるさとを誇りに思う児童の育成を目指していきます。

価値観の多様化が進み、食と農の乖離が課題となり食事を大切にしたい気持ちはありながらも、時間や気持ちにゆとりがないと困難な課題も多くありますが、食品ロス削減には栄養士・管理栄養士の果たす役割は大きなものがあると考えております。学生には、小学生に食事に関心をもってもらうこと、食品ロス削減の工夫などを楽しみながら伝えてもらいたいと思います。

食物学科 教授 徳広千恵



# 津山高等専門学校と共同で 食品ロス削減へ 「無料野菜スタンド」

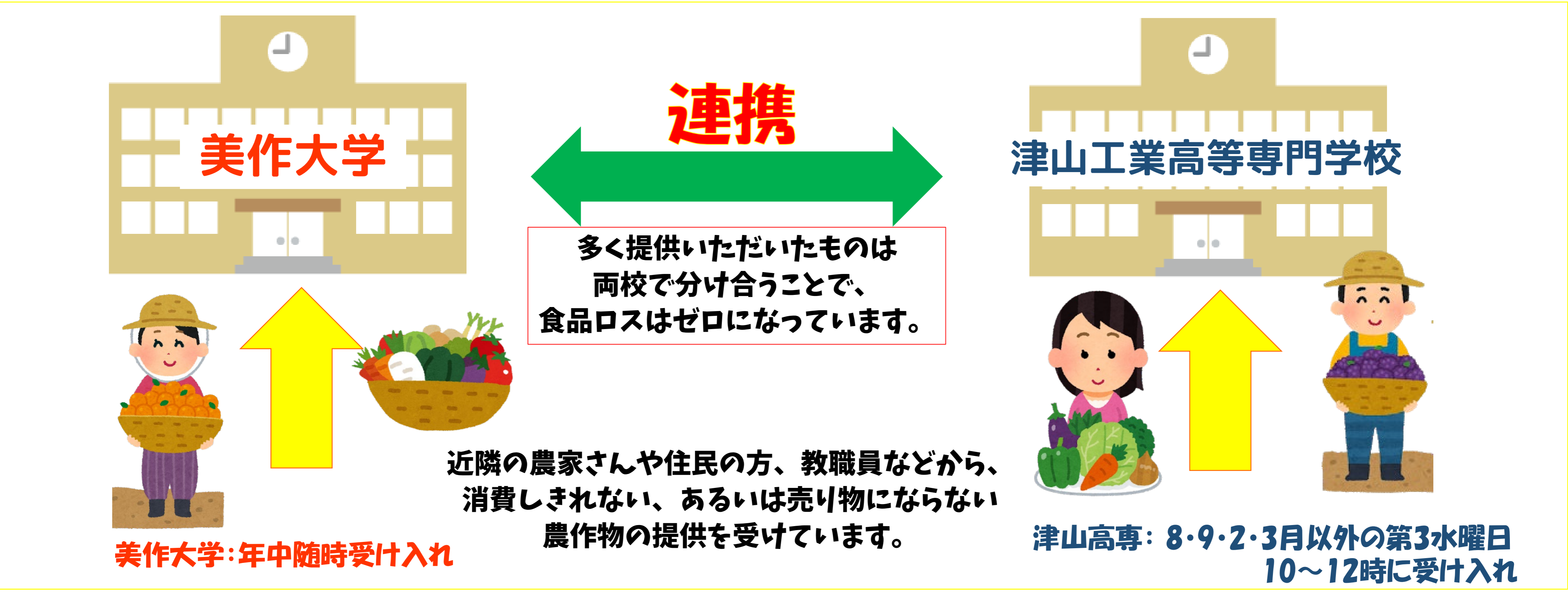
～SDGs共同宣言の取り組み～

## 無料野菜市場 について

### 美作大学と津山工業高等専門学校のSDGs 共同宣言について

2018年11月に美作大学・美作短期大学部は、津山工業高等専門学校と協力して教育や研究活動、地域貢献などにおいて、人類の持続的な発展をめざす『SDGs(Sustainable Development Goals)』の推進に積極的に取り組んでいくことを宣言しました。

周辺地域の方や教職員から受け取った農産物を学生に無料で配布する『無料野菜市場』は、2010年より美作大学で学生サービスの一環として行われていたもので、現在は年間50回以上開催されています。2020年10月より、美作大学と津山工業高等専門学校では、“食品ロス削減”という観点から『無料野菜スタンド』の取り組みを共同で行い、両校に農産物の受け入れ窓口を設け必要に応じてそれを分け合い、無駄のないように学生へ行きわたる仕組みを設けることとしました。



## 津山工業高等専門学校での無料野菜スタンドの様子





# 障がいがあっても「ええがん！」

## 美作福祉部隊 リカイヒロメタインジャー

～障がい者理解と支援の輪を広げるために～

### 美作福祉部隊リカイヒロメタインジャーの概要

2006年に「障がいがあってもええがん」をモットーに地域における障がい者理解と支援の輪を広げるために美作大学の8人の学生と1人の教員（薬師寺）によるプロジェクトチーム・美作福祉部隊リカイヒロメタインジャー（略してリカヒロ）が誕生しました。現在まで各学年10名程度で活動しており、これまでの延べ人数は約150名になりました。見てわかりにくい障がいをテーマに、障がいに対する偏見や差別をなくし、障がいのある方が地域において安心して暮らしていけるように劇や疑似体験を通して障がい者理解を広める活動をしています。



#### 劇「ええがん」

年代別バージョン（幼稚園から大学生など）や参加者の立場に寄り添ったバージョン（ダウン症や精神障がいの理解）など、学生が考案した様々なシナリオがあります。歌・ダンス・劇で地域の方へ障がいの理解をわかりやすく伝えます！



#### 疑似体験2

#### 「ペットボトルをのぞいてみよう」

自閉症のある人の注意の向け方が私たちとは違う**シングルフォーカス**という特性について理解してもらいます。**シングルフォーカス**とは、一つの事柄や一つのものに焦点を合わせると、他のものには注意や視点がいかないということです！また、2つ以上の事柄やものごとへ同時に注意を向けることが難しいということです！※自閉症のある方がみんな**シングルフォーカス**という特性を持っているわけではありません。



シングルフォーカス体験セットを装着！シングルフォーカスを体験！

#### 疑似体験1 「じゃけじゃけ共和国に入国してみよう！」

コミュニケーションについての障がい特性を学びます！「じゃけじゃけ共和国」は、公用語がじゃけじゃけ語で日本語はおろか英語も通じません。伝えたいけれど、伝わらないそんな世界を体験してもらいます！知的障がいのある人や自閉症の人は、耳から入ってくる情報より、視覚から入ってくる情報のほうがわかりやすいので、絵や図・ジェスチャーなどを活用してコミュニケーションを図ります！障がいのある方との関わりにおいて、何も「特別な道具や技術」が必要なわけではなく、ほんの少しの「配慮」が大切なポイント！



#### 疑似体験3 「軍手で・・・」

知的障がいがある人の特性の理解とともに、支援される側の心理状況を体験することによって、支援する上での大切なポイントを学びます！知的障がいの人の中には、細かな手先の動きができないなど知的な発達以外に運動機能にも障がいがある人もいます。この特性を知らないため、本人は怠けたりわざととしているわけではないのに周りから注意や説教を受けてしまうことがあります。その人に合った支援が必要であるとともに、「見守り」という支援も大切です！



#### これまでの活動！

年間約20回の公演を行っています。発足から今までで合計公演回数200回を超えています。



- ★ 自立支援協議会のフォーラム
- ★ 社会福祉協議会等での市民講座
- ★ 小学校・中学校・高校等の教育機関
- ★ 育成会・福祉協会・特別支援学校 P T A 等
- ★ 民生委員・保育士等の研修
- ★ 子ども会のイベント等
- ★ 岡山県内各地・兵庫県・奈良県・高知県等で公演



# 全国初!! 大学生による 里親・里子支援サークル

里親家族の笑顔と成長のために  
～支援の輪をつなげよう～

## 里親・里子支援サークルの目的

近年、社会保障のひとつである里親制度（家庭的養護）の占める割合が増大している。しかし、里親は一般家庭で児童を養育する形態であり、様々な困難が予測される。そのため、里親を支援する機関や団体が求められている。しかし、数はごく少なく美作地区にはない。そこで、学生による里親支援団体を立ち上げ、学生による里親支援を行うこととした。具体的には、里親をはじめ、公共機関や専門職等が参加する定例会議を開催し、検討・確認を行いながら里親支援を実施している。様々な交流行事を行うことにより、団体や個人とのつながりを強め、**里親制度の認知の向上、里親・里子支援ネットワークの形成を支援**していく。また、学生は実際に里親や里子にかかわることにより、社会福祉の臨床を体験することができ、社会福祉専門職としての価値観や倫理観を実践的に学ぶことができる。



### 具体的な活動

月1回里親、児童養護施設職員、里親相談支援専門員、学生等で「サポーターズ会議」を持ち、活動を計画・実施している。主に美作地区里親の会の行事（里親サロン、里親研修会、交流行事）の支援を行ってきた。また、サークル独自の活動としては、大学を使つてのレスパイトケア、交流キャンプ、クリスマス会等を行っている。

### サークル立上げのきっかけ

大学で美作地区里親会の会長さんからお話を伺う機会があり、その中で里親の実情を知った学生の中から、里親・里子に協力したいという申し出があり、里親・里子支援サークル（美作里親・里子サポーターズ）が生まれた。

### 学生たちの学び

児童相談所の職員、児童養護施設の職員、里親支援専門相談員、里親や里子との交流、ケース会議や研修会等への参加があり、支援の必要な子どもたちを取り巻く環境を体験することができる。児童福祉関係職員を将来目指していく学生にとって、その基盤を形成するよい機会となっている。





犯罪被害者やその家族への支援、  
また犯罪被害のないまちづくりをめざして

# 犯罪被害者 支援活動

## 犯罪被害者支援活動の概要

美作大学犯罪被害者支援活動は、社会福祉学科2年生から4年生15名（2019年4月時点）が、**犯罪被害者やその家族への支援、また犯罪被害のないまちづくりをめざして**2016年から研究・実践活動をしています。活動は、長期休暇中を除き毎週1回放課後に開講し、犯罪被害者遺族の講演の振り返りや犯罪被害者支援に関する制度や支援、犯罪被害の現状について調べ学習をし、目的達成のために何ができるか考えて、地域にむけた啓発活動の企画やそのための準備をして、実践しています。

### 防止活動

#### 津山駅前での犯罪被害者防止キャンペーン



津山警察署、交通警察協働員、少年警察協働員とともに、JR津山駅前での交通安全県民運動にあわせて「自転車の窃盗・事故被害」の予防啓発活動を実施しました。この活動は2016年より毎年行っています。



#### 大学内での犯罪被害者防止キャンペーン



津山警察署生活安全課、少年警察協働員、北陵青色防犯パトロール隊員らと一緒に、学内にて犯罪被害防止の啓発活動を行います。「犯罪の被害にあわないように気をつけてください」と呼びかけながら、ネット犯罪、ストーカー、薬物乱用防止の啓発チラシやリーフレット、ティッシュなどのセットを登校してきた学生たちへ手渡しました。

### 活動内容

### 周知活動

#### 津山市役所パネル展示



「犯罪被害者週間」に合わせ、津山市役所のホールにおいて「他人事ではない! つくらない犯罪被害者・守ろう犯罪被害者」をテーマにパネル展示しています。パネルは、犯罪被害者支援の活動内容の紹介や地域の理解と配慮が必要であること、一般的に私たちにどのような支援ができるか分かる内容を掲載しました。

#### 中学校で創作劇を上演



「命の大切さと犯罪被害者支援について考える」をテーマに、学生たちが「犯罪被害者支援のあり方について考える創作劇」を中学校で上演しました。創作劇を上演し、途中その創作劇で題材となった「交通事故の被害者遺族となった友人のために自分ならどうするか、何ができるのか」について、グループに分かれて中学生に考えてもらいました。



### 連携活動

#### 犯罪被害者支援フォーラム

学生たちが地域にむけた啓発活動の企画を考えフォーラムのテーマを決定しています。

2018年度テーマ：「岡山県北発、犯罪被害者を地域で支え合う関係づくり」  
～誰もが住みやすい地域を目指して～

2019年度テーマ：「あなたの身近にあるDVの実態とDV被害者への支援」  
～身近な人を地域で支え合う関係づくり～







認知症の方とその家族を孤独から守る

# 認知症支援

## 『おあしすカフェ』

～悩みを語り合い、思いを受けとめ、つながる場を～

### 認知症支援『おあしすカフェ』活動の概要

小坂田・堀川研究室の4年ゼミ生合同で、津山市認知症の人と家族の会「おあしすの会」との共催による認知症の本人・家族支援の一つ「オレンジカフェ」を開催。現在、津山市には約4,500人の認知症の人が暮らしている。こうした人やその家族は様々な悩みや苦しみを抱え、地域の中で孤立した生活を余儀なくされている。

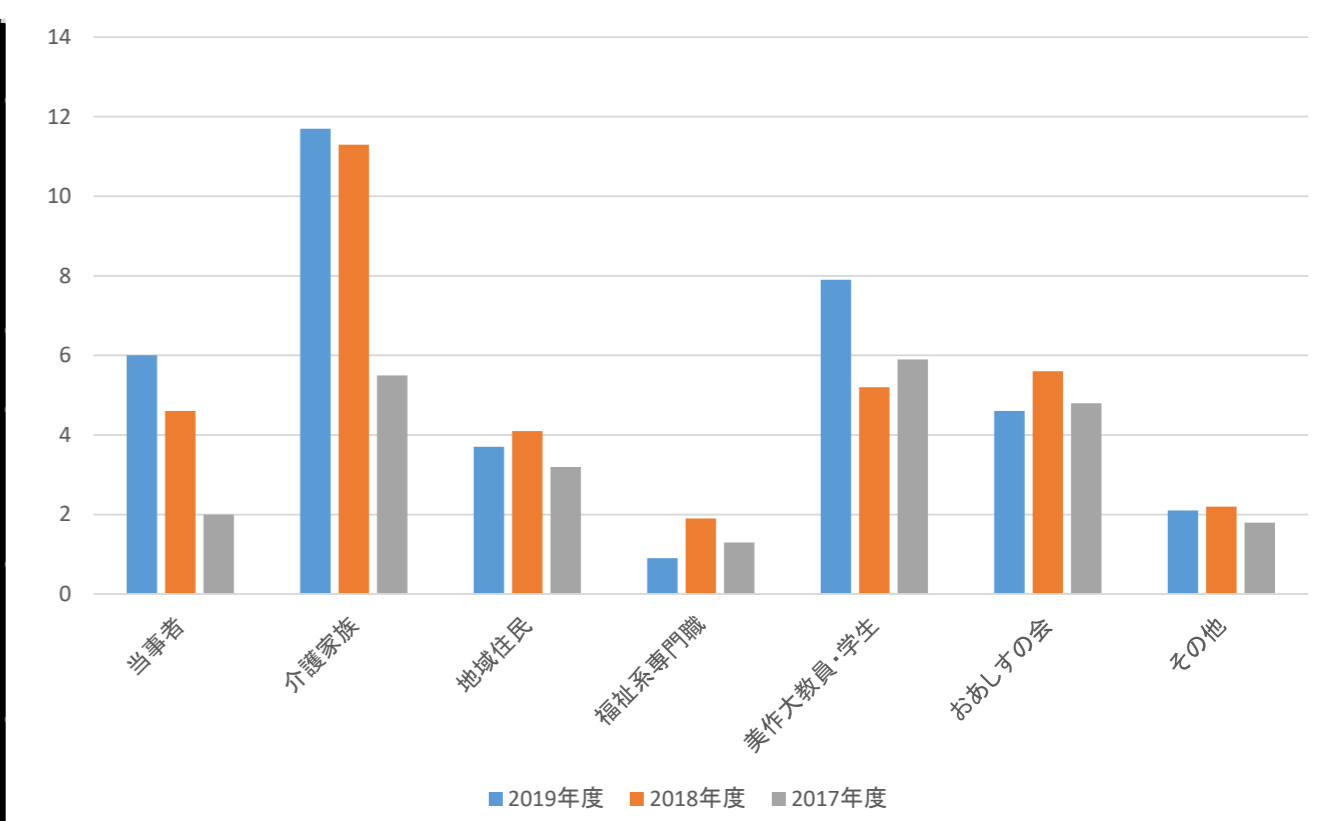
このため、たとえ認知症になっても、**住み慣れた地域でいきいきと暮らしていくための支援**としての居場所づくりが必要となっている。こうした居場所づくりの取り組みとして、「じ・ば・子の茶の間」を活用して**認知症カフェ「おあしすカフェ」**を毎月1回開催している。



### 来所者数の推移

毎回、部屋が狭いほどの盛況ぶりで、食事を入替制にするなどの工夫をしている。認知症ご本人や家族の参加が継続して増えていることから「ご本人と家族のためのカフェ」になってきていることを実感している。

|          | ご来所者内訳   |       |       |         |          |         |      | 来所者計 |
|----------|----------|-------|-------|---------|----------|---------|------|------|
|          | ①当事者(本人) | ②介護家族 | ③地域住民 | ④福祉系専門職 | ⑤美作大教員学生 | ⑥おあしすの会 | ⑦その他 |      |
| 合計       | 60       | 117   | 37    | 9       | 74       | 46      | 21   | 364  |
| 2019年度平均 | 6        | 11.7  | 3.7   | 0.9     | 7.4      | 4.6     | 2.1  | 36.4 |
| 2018年度平均 | 4.6      | 11.3  | 4.1   | 1.9     | 5.2      | 5.6     | 2.2  | 34.9 |
| 2017年度平均 | 2        | 5.5   | 3.2   | 1.3     | 5.9      | 4.8     | 1.8  | 24.3 |



### 活動内容

「おあしすカフェ」は、認知症の方やそのご家族が、地域の人や専門家と集い、悩みを語り合ったり、思いを受けとめあったり、つながりをつくることのできる場です。

#### おあしすカフェの様子



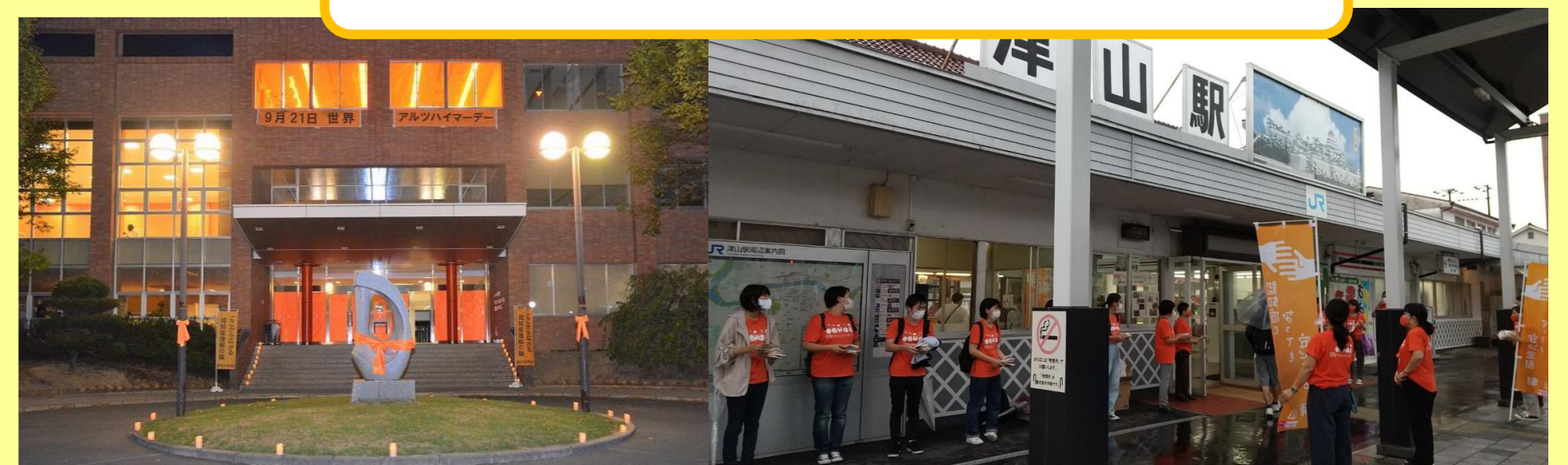
9月21日の世界アルツハイマーデーに合わせてカフェを開催し、社会福祉学科の学生6名がスタッフとして参加しました。この日は、かるたのお題を逆さに読む「逆さかるた」や、リズムに合わせて自分や隣の人の肩を叩きながら童謡の「赤とんぼ」を歌うなど、学生が考案した、頭の体操になり皆で楽しめるレクリエーションを行いました。昼食は手作りハヤシライスを皆でいただき、笑顔のたえない楽しい交流会となりました。

#### お散歩おあしすカフェ



2020年度はコロナ禍ため、「3密」を避けるべく衆楽園でお散歩するという企画を実施しました。

#### 世界アルツハイマーデー



世界アルツハイマーデーに合わせて、津山市アルツハイマーデー実行委員会として、津山駅前啓発チラシを配布したり、大学をオレンジ色にライトアップしたりしました。



# 上山で学ば♪地域の輪！ 上山コミュニティワーク 実践研究会

～地域創生の在り方について学ぶ～

## 上山コミュニティワーク実践研究会の目的

美作市にある上山地区（上山集楽）を活動の拠点として、中山間地域の移住した若者たちとの交流を通して、**地域創生のあり方について学ぶこと**を目的としている。



Ueyama  
Community  
social work



「上山集楽」には多くの若者が移住し、地域の伝統を守りつつ、棚田再生や地域おこしに取り組んでいる。限界集落になることが危惧された地域を**高齢者たちと活性化させていく若者たちの生き方を肌で感じる**ことのできる「上山集楽」は、コミュニティソーシャルワークを学ぶだけでなく、人間力を高めるうえでも学びが多い。

**地域がキャンパス！上山にいこう！**



美作大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



# この街で笑顔で生きる認知症 世界アルツハイマーデーの活動

～認知症への理解をすすめる啓発活動～

## 世界アルツハイマーデーとは？

1994年「国際アルツハイマー病協会」が、世界保健機関 (WHO) と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心にアルツハイマー病の啓発を実施しています。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定めて、様々な行事や取組が行われています。美作大学 社会福祉学科でも様々な啓発活動を行っています。



おあしすカフェでのイベント

2019年9月20日(金曜)世界アルツハイマーデー(9/21)に合わせて、津山市城東地区にある「じ・ば・子の茶の間」で「おあしすカフェ」を開催し、社会福祉学科の学生6名がスタッフとして参加しました。「おあしすカフェ」とは、認知症の方やそのご家族を支援することを目的としたカフェです。地域の人や専門家と集い、悩みを語り合ったりアドバイスを受けることのできる場で、社会福祉学科の小坂田・堀川研究室とおあしすの会(津山市認知症の人と家族の会)が共同で定期的に開催しています。この日は、かるたのお題を逆さに読む「逆さかるた」や、リズムに合わせて自分や隣の人の肩を叩きながら童謡の「赤とんぼ」を歌うなど、学生が考案した、頭の体操になり皆で楽しめるレクリエーションを行いました。昼食は手作りハヤシライスを皆でいただき、笑顔のたえない楽しい交流会となりました。



津山駅前での啓発活動

世界アルツハイマーデー(9月21日)に合わせ、2020年9月18日(金曜)にJR津山駅前で社会福祉学科の学生が認知症への理解を訴える街頭啓発活動を行いました。津山アルツハイマーデー実行委員会が主催し、実行委員である民生委員、津山市地域包括支援センター、津山信用金庫、認知症キャラバンメイト津山、生協、高齢者施設などの約20名が通勤・通学の駅利用者へ啓発用のチラシとティッシュ約350セットを手渡し、正しい理解を呼びかけました。学生は3人が実行委員として参画しており、同じゼミの学生にも声をかけて教員とともに大学から7人参加しました。多くの学生は街頭に立つのは初めての経験で、初めはなかなか手渡せなかったのですが、少しずつ声も出て、主に通学途中の高校生に「認知症理解」の啓発をすることができました。

**街頭で認知症への理解を啓発**  
美作大学

地域の暮らしを支える人材を育成する美作大学(津山市津山町)。9月18日、同大の生活科学部社会福祉学科で学ぶ学生がJR「津山」駅において、認知症への理解を訴える街頭啓発活動を行った。

同活動は津山アルツハイマーデー実行委員会(会長・野)が主催。9月21日の世界アルツハイマーデーに合わせて実施された。民生委員、津山市地域包括支援センターなどから約20名が参加し、通勤・通学の駅利用者に対して啓発用のチラシとティッシュの約350セットを手渡した。認知症に関する正しい理解を呼びかけた。

四人からは教員と共に7人の学生が参加し、そのうちの3人が実行委員として活動の中心を担った。街頭に立つのは初めての経験で、初めはなかなか手渡せなかったのですが、少しずつ声も出て、主に通学途中の高校生等に積極的に声をかけを行った。

また、9月22日～27日にかけて、同学科の学生が同大の正面玄関を認知症支援のシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップし、ライトアップを行った。学生、教員と共にオレンジ色のTシャツを着用して認知症への理解と支援を訴えた。

学生からは「津山市には現在、約8,580人の認知症の方がいます。私たちの活動で少しでも認知症への理解が広がり、認知症患者にとって優しい社会になって欲しい」と、活動に対する思いを語った。



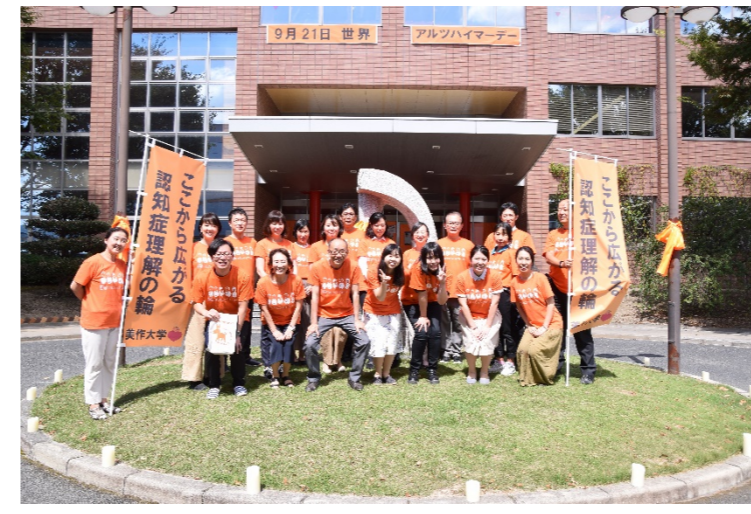
オレンジウォークin津山への参加

2019年9月19日(木曜)、世界アルツハイマーデー(9/21)に合わせた「オレンジウォークinつやま」が津山市内で行われ、社会福祉学科の学生20名が参加しました。この日、関連した12団体から約130名が参加し、認知症支援イメージカラーであるオレンジ色のTシャツを着て、津山市役所から鶴山公園まで歩きました。「認知症になっても安心して生活できる津山」とのスローガンが印刷されたのぼり旗を手に、認知症への正しい理解を啓発しました。



大学校舎をオレンジ色にライトアップ

2019年9月、2020年9月に世界アルツハイマーデーに合わせ、啓蒙活動の一環として美作大学の正面玄関付近を、認知症のシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップしました。社会福祉学科の学生や教職員はオレンジTシャツを着て、啓蒙活動に参加しました。



姫路おれんじプロジェクトに参加

2019年9月21日 姫路市で開催された世界アルツハイマーデーにちなんだ認知症ケアの啓発イベントに社会福祉学科の学生16名が参加し、啓発活動に取り組みました。このイベントは社会福祉学科の武田英樹准教授が実行委員長を務めるひめじ認知症啓発協議会が主催し、世界アルツハイマーデーに世界文化遺産姫路城をオレンジ色にライトアップするというイベントで姫路駅前から姫路城にかけて、認知症相談会、啓発ウォーキング、募金、ティッシュ配布、地元高校吹奏楽部による演奏などでイベント会場はたくさんの人でにぎわいました。



# 『Orange Wings#189』

～児童虐待問題に対する関心と理解を得るために～



## Orange Wings#189の概要

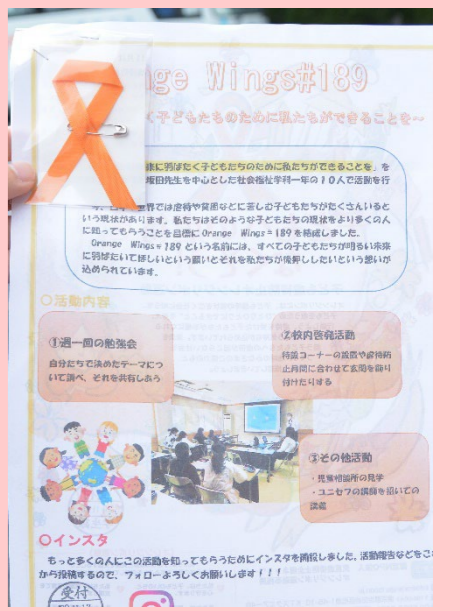
2020年に社会福祉学科1年生10名が「虐待や貧困に苦しむ子どもたちの助けになりたい」と小坂田稔学科長指導の下団体を結成しました。「未来に羽ばたく子どもたちのために私たちができることを」をスローガンに、日本や世界で虐待や貧困で苦しんでいる子どもたちがたくさんいるという現状を多くの人に知ってもらうことを目的に、様々な活動をしています。

### 名前の由来

『Orange Wings#189』という名前には、「すべての子どもたちが明るい未来に羽ばたいてほしい」という願いと、それを後押ししたいという想いが込められています。グループ名に付いている「189(いちはやく)」は児童相談所虐待対応ダイヤル番号を表しています。

### オレンジリボンとは？

オレンジリボンは、シンボルマークであり、オレンジ色は子どもたちの明るい未来を表しています。子ども虐待防止に賛同される方が、それぞれ胸にオレンジリボンを着けることで、子ども虐待防止の活動に参加していただけるのです。



## 啓発活動

### 啓発活動①～学内での啓発活動～

11月の児童虐待防止月間に合わせて、大学内の門や玄関の前で登校してくる学生や教職員に向け、手作りのシンボルマークであるオレンジリボンとチラシを配布しました。他学科の学生にはいい刺激となり、児童虐待防止を知るきっかけとなりました。



### 啓発活動②～津山駅前での啓発活動～

「11月は児童虐待防止月間です。オレンジリボンを着けて子どもたちへの虐待防止について考えましょう。」と呼びかけをしながら、津山駅の入り口付近で高校生や一般の方などに手作りのオレンジリボンとチラシを配布しました。



### 啓発活動③～標語の募集・展示～

児童虐待防止についての標語を募集し、学内関係者から、たくさんの応募がありました。応募作品の中から最優秀賞1点と5点の標語を選考し、ポスターにして学内に掲示しました。



### 啓発活動④～学内での展示～

11月の児童虐待防止推進月間は大学内の渡り廊下で啓発ポスター等の展示をしました。



※厚生労働省が毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定めており、家庭や学校、地域等の社会全般にわたり、児童虐待問題に対する深い関心と理解を得ることができるよう、期間中に児童虐待防止のための広報・啓発活動など種々な取組を集中的に実施しています。



### 週1回の勉強会

自分たちで決めたテーマについて調べ、それを共有しあう活動をしています。

### その他の活動

- ★児童相談所の見学
- ★ユニセフの講師を招いての講義





岡山県で初！2015年スタート！

# きんちやい みまさかれっじ

知的障害のある人へ学習機会の提供

## きんちやい みまさかれっじとは？

オープン・カレッジは**学習機会の少ない知的障害のある人を大学に招いて講義を受けてもらう活動**です。オープンカレッジは①**知的障害者の人権（教育を受ける権利）の保障**②**知的障害者の変化（発達）の可能性の保障**③**地域社会に対する大学の貢献**という、3つの理念を基に活動が展開されます。オープン・カレッジは知的障害のある人に、ただ学ぶ場を提供するだけでなく、「**教育権**」や「**発達保障**」を**実践を通して実現しようとする取り組み**です。社会福祉学科 薬師寺研究室のゼミ生の3・4年生たちが2015年より年2回開講しています。

“きんちやい みまさかれっじ”は美作大学ではじまったオープンカレッジです。

### 役割分担(事前準備/前日・当日)

学生たちは、自分たちで役割分担をして、準備を進めていきます。前日・当日も自分の係をしっかり把握し、対応していきます。

- 事前準備**
- 総括
  - 講師係
  - 会計・広報係
  - 受講生係
  - 全員でやること

- 前日・当日**
- 司会・進行
  - カメラ
  - 受付
  - 反省会準備
  - 記録



|      | 全員                   | 総括        | 講師係            | 会計・広報係            | 受講係               |
|------|----------------------|-----------|----------------|-------------------|-------------------|
| 5ヶ月前 | 役割・日程<br>講義内容・テーマの決定 |           |                |                   |                   |
| 4ヶ月前 |                      |           | 講師の選出          |                   |                   |
| 3ヶ月前 |                      |           |                | チラシ作成・完成<br>事業所決め |                   |
| 2ヶ月前 | チラシのアポ取り・配布          |           | 講師との打ち合わせ      |                   |                   |
| 1ヶ月前 |                      | パワーポイント作り |                |                   |                   |
| 2週間前 |                      |           |                | 冊子作り              | 日程表完成・郵送<br>アンケート |
| 前日   |                      | 当日の役割資料配布 |                |                   |                   |
| 本番   |                      |           | 講師の接待<br>アンケート | 会計処理              |                   |

## 2015年度

|    |     |                            |
|----|-----|----------------------------|
| 前期 | 1日目 | 全体講義「文化人類学」<br>選択科目「英会話」音楽 |
|    | 2日目 | 全体講義「料理」交流会                |
| 後期 | 1日目 | 「工作」「悪徳商法対策講座～あきらめない～」     |
|    | 2日目 | 「科学実験」交流会                  |



## 2016年度

|    |     |                  |
|----|-----|------------------|
| 前期 | 1日目 | 「パソコン」「マナー講座」    |
|    | 2日目 | 「栄養学」「護身術」交流会    |
| 後期 | 1日目 | 「和菓子作り」「茶道」      |
|    | 2日目 | 「災害学習(消防署見学)」交流会 |



## 2017年度

|    |                   |
|----|-------------------|
| 前期 | 「ストレッチ」「口腔ケア」振り返り |
| 後期 | 「フラダンス」「経済学」振り返り  |



## 2019年度

|    |                 |
|----|-----------------|
| 前期 | 「保健学」「声楽」振り返り   |
| 後期 | 「調理実習」「栄養学」振り返り |



## 2020年度

|    |                       |
|----|-----------------------|
| 前期 | 「心理学」「コミュニケーション学(手話)」 |
| 後期 | 「食品学」「美作大学図書館ガイダンス」   |



## 2018年度

|    |                     |
|----|---------------------|
| 前期 | 「防災学」「工作」振り返り       |
| 後期 | 「歴史学(津山)」「ボッチャ」振り返り |



### オープン・カレッジの活動から 島根大学との交流へ

島根大学 人間科学部の福祉社会コースも障がいのある人のオープンカレッジを開催しており、同じ目的を持つ学生たちの交流会が開かれ、他大学の活動などを知るいい機会になっています。





# 障がい者支援施設の商品を大学内で販売

## Smile すまいる Company かんぱにー

～障がいのある方と一緒に学生が販売活動～

### Smile Company～すまいるかんぱにー～の概要

“Smile Company (すまいるかんぱにー)” は、2013年から障がいのある方とゼミ学生と一緒に障がい者支援施設などの事業所で生産した商品を月に1度、学内の中庭で販売しています。年々参加事業所も増え、商品の種類も豊富になりました。主にパンやクッキーなどの食品、アクセサリやキャンドル、木工用品、手芸品などの小物類を販売しています。今では月に1度の“すまかん”の日を学生・教職員も楽しみにしています。社会福祉学科だけでなく、**他学科の学生や教職員にも障がいのある人に対する理解を広げるきっかけ**となっています。

### 販売の様子



スマカン開催時の昼休みは大学構内の中庭は大盛況です。



障がいのある方々と一緒に販売活動をしします。



集合写真でスマカンスマイル(\*^^\*)



社会福祉士の国家試験の前に委託販売の事業所の方が、合格のお守りに！と描いた絵を商品と一緒に送っていただきました。神奈川や高知など遠くの事業所の方とも様々な形で交流しています。



販売が終わったあとは楽しみにしている学食でのランチタイムです。障がいのある方や事業所の方々と学生たちが直接お話ができ、交流のいい機会になっています。

### 商品ラインナップ

惣菜パン・ケーキ・クッキー・ラスク・マドレーヌ・おせんべいなどのお菓子やキーホルダー・ピアス・髪留め・コースターなどの手芸品がズラッと並びます。



### 参加事業所

#### 直接販売

- ◆ 津山みのり学園 セルフみのり (津山市)
- ◆ 津山ひかり学園 ひかりの丘 (津山市)
- ◆ NPO法人東備 ユートピア (備前市)
- ◆ 弘徳学園 すまいる (岡山市)
- ◆ 閑谷福祉会 メイプルハイム (岡山市)

- <販売商品>・クッキー・うす丸くん・煎餅等
- <販売商品>・惣菜パン・ラスク等
- <販売商品>・キーホルダー・コースター等
- <販売商品>・キャンドル・消臭剤等
- <販売商品>・惣菜パン・ケーキ等

#### 委託販売

- ◆ 湘南の凧 えるしい (神奈川県)
- ◆ 泉学園 桑野ワークプラザ (岡山県)
- ◆ 弘徳学園 すまいる (岡山市)
- ◆ むろとうみがめ (高知県)
- ◆ NPO法人フリーヘルプ (兵庫県)



お弁当を通じて、健康への意識を

# (株)マルイとの食育弁当 共同開発プロジェクト

2013年～2019年 美作大学食物学科  
2020年～短大 栄養学科と共同開発

## 企業との連携食育弁当開発の目的

(株)マルイとの食育弁当共同開発プロジェクトは、「地域の皆さんにバランスの良いものを食べていただきたい。普段食べるお弁当を通じて、地域の皆さんに『毎日の食』に対する意識を高めていただきたい」との思いから始まり、今年度で8年目を迎えます。近年、外食産業の発展により、惣菜や弁当などを自分自身で選択する機会が増えています。手軽に購入することができる反面、何をどのように食べれば良いのかわからなく、食べたい時に好きなものを摂る傾向にあり、偏った食生活になりがちです。そこで、身近な存在である地元スーパーマーケットと連携して栄養バランスを考えた食育弁当を開発することで、バランスのよい食事の手本を提示し、消費者の方に正しい健康への意識を持ってもらうことを目的に2013年より食物学科が食育弁当の開発を行ってきました。2020年からは栄養学科が引き継ぎ、開発に取り組んでいます。

### 共同開発弁当ラインナップ

季節や行事に合わせて津山市の特産品である米 (COCORO)や食材にこだわり、8年で17個の商品を生み出し、地元住民の方にも定着し、大変好評をいただいています。

### 開発の様子

学生たちは(株)マルイ担当者の方とコスト面や栄養面などあらゆる角度からの打ち合わせや試作を重ね、完成へとつなげていきます。



|  |   |   |   |  |
|--|---|---|---|--|
| <p><b>第1弾</b><br/>さんま竜田の彩食健美弁当</p>                 | <p><b>第2弾</b><br/>塩麴鶏へるしいバランス弁当</p>        | <p><b>第3弾</b><br/>20品目の華咲きちらし弁当</p>           | <p><b>第4弾</b><br/>豚肉とカシューナッツの黒酢あん弁当</p>  | <p><b>第5弾</b><br/>かみかみサラダと塩麴鶏のオープン焼き弁当</p>  |
| <p><b>第6弾</b><br/>レモンライス&amp;夏野菜ビーンズカレー</p>        | <p><b>第7弾</b><br/>高野豆腐入りごろっとつくねの鰯そぼろ丼</p>  | <p><b>第8弾</b><br/>根菜の黒酢煮と3種のごはんのいろどり満載弁当</p>  | <p><b>第9弾</b><br/>血液さらさLunch</p>         | <p><b>第10弾</b><br/>秋薫る30品目の色とり鶏 Bento</p>   |
| <p><b>第11弾</b><br/>彩野菜とチキンのオレンジソース弁当</p>           | <p><b>第12弾</b><br/>カラダ想いのごちそう弁当</p>        | <p><b>第13弾</b><br/>甘酒仕立て鰯の味噌焼き弁当</p>          | <p><b>第14弾</b><br/>黒酢たまねぎソースの鶏南蛮弁当</p>   | <p><b>第15弾</b><br/>20種野菜の大豆バーグ弁当</p>        |
| <p><b>第16弾</b><br/>1/2日分の野菜が摂れる! ベジ鮭 Bento</p>  |   |   |   |  |

### 全国スーパーマーケットお弁当お惣菜大賞に応募

お弁当・お惣菜大賞とは、スーパーマーケットやコンビニエンスストア、専門店等で実際に販売している数多くのお弁当・お惣菜・サラダ・調理パン等の中から、食の専門家で作成された審査員により、特に優れた商品を選出し表彰するものです。(お弁当・お惣菜大賞2018より)

<これまでの受賞商品>

- 2014年 大賞 (ヘルシー部門)**  
「さんま竜田の彩色健美弁当」(エントリー総数:42,555件、部門:464件)
- 2015年 最優秀賞 (寿司部門)**  
「20品目の花咲きちらし弁当」(エントリー総数:44,746件、部門:3,740件)
- 2016年 優秀賞 (ヘルシー部門)**  
「かみかみサラダと塩麴鶏のオープン焼き Bento」  
(エントリー総数:50,283件、部門:3,894件)
- 2017年 最優秀賞 (ヘルシー部門)**  
「秋薫る30品目の色とり鶏 Bento」(エントリー総数:51,624件、部門:2,411件)
- 2018年 入選 (ヘルシー部門)**  
「カラダ想いのごちそう弁当～鯖のマリネとレンコン団子」  
(エントリー総数:52,283件、部門:2,856件)

### 2020年度 栄養学科 販売キャンペーンの様子

お弁当の発売日に合わせて、学生たちは(株)マルイ店舗にて販売キャンペーンを行います。接客を通じて消費者の生の声聞くことができ、学生たちにとって良い機会となっています。自分たちが開発したお弁当とPRしようと懸命に取り組んでいます。

**第17弾**  
カラダ想いやり弁当  
～彩り野菜と鯖の黄金焼き～






# 地域が！公民館が！美作大学になる！

## 「地域立」の大学として 市民の方と共に 学ぶイベント

### 市民キャンパス開催の目的

本学は「地域の暮らしを支える人づくり」を目的として、津山市および周辺市町村の支援のもと、1967年にいわば「地域立」の高等教育機関として設立されました。この市民キャンパスは、創立50周年を契機に、地域によって生み出された原点に立ち返り、「地域の皆様とともに今後も歩んでいけるように」と願いを込めて開催され、今年度で4回目となります。

### 2017.5.28 in 津山東公民館

#### 学科ごとの学びの場の提供

|                  |  |
|------------------|--|
| 【専攻科】            | リラクゼーションマッサージ                              |
| 【食物学科】<br>【栄養学科】 | 親子クッキング                                    |
| 【幼児教育学科】         | 郷土ゆかりの作曲家を楽しむ～ミニコンサート～                     |
| 【社会福祉学科】         | 認知症予防体操～運動で脳が若返る！手軽にできる認知症予防！              |
| 【児童学科】           | 小学生を持つ親を対象とした講演会「親子コミュニケーション」～スマホ時代の子どもたち～ |



見て！参加して！楽しめる学生たちのパフォーマンス！

- ◆ 沖縄県人会のエイサー
- ◆ 高知県人会のよさこい
- ◆ 津ダンスのダンス など



#### ミニコンサート

見て！参加して！楽しめる学生たちのパフォーマンス！

- ◆ 美作クラブのダブルダッチ
- ◆ 附属幼稚園のちびっこ集まれ！「遊びのコーナー」など

### 2018.5.27 in 城西公民館

#### 学科ごとの学びの場の提供

|          |                           |
|----------|---------------------------|
| 【専攻科】    | VR認知症体験会                  |
| 【食物学科】   | 食品ロスについて考えよう〈展示等〉         |
| 【栄養学科】   | 高齢者の胃にやさしい調理法講座           |
| 【児童学科】   | 乳幼児とかかわりのある方を対象とした講演会     |
| 【社会福祉学科】 | 美作福祉部隊「リカイヒロメタインジャー」ただ今参上 |
| 【幼児教育学科】 | 郷土ゆかりの作曲家を楽しむ～ミニコンサート～    |

### 2019.5.26 in 東苦田公民館

#### 学科ごとの学びの場の提供

|          |  |
|----------|--|
| 【社会福祉学科】 | ◆ 美作福祉部隊「リカイヒロメタインジャー」<br>◆ 私らしく生ききろう！～『わたしの生き方ノート』のススメ～ |
| 【食物学科】   | 食中毒にご用心〈展示等〉   |
| 【児童学科】   | 親子ふれあいコンサート  |
| 【栄養学科】   | 体のことを栄養学で考えてみよう  |
| 【専攻科】    | リラクゼーションマッサージ  |

見て！参加して！楽しめる学生たちのパフォーマンス！

- ◆ 児童文化研究部による「託児コーナー」 ◆ ビンゴ大会 など



#### リラクゼーションマッサージ



食物学科と地元のスーパーが共同で開発したお弁当を参加者の皆様に振る舞いました。







美作大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



美作学園が空き店舗を改装し出店！津山市の商店街に

# みまっばふらざ

MIMAPPA PLAZA

## OPEN!

～若者定住・地方創生を目指して～

### 「みまっばふらざ」とは

津山市商店街からの要請もあり、賑わいの創出に一役買うことになり、美作学園として空き店舗を改装し、2021年12月18日（土）、ソシオ一番街に「みまっばふらざ」をオープンしました。本学園（美作大学・美作大学短期大学部、美作高校、美作大学附属幼稚園）の特色を活かした物販や喫茶、展示会やイベント企画等を実施します。美作大学の学生が店員を務め、地域の方々と交流を深めることで、「地域活性化」につなげ「本学園と地域を結ぶ拠点」となるお店を目指しています。

### 「みまっばふらざ」オープンまでの道のり

計画は6月頃から本格始動し、最初は7名程の学生有志で準備が始まりました。学生スタッフや大学職員、商店街関係者と会議を重ね、物件の下見、壁のペンキ塗りや備品の選択、商品の仕入れ等を行いました。現在はスタッフも50名程に増え、無事2021年12月にオープンを迎えることができました。



オープニングセレモニーでは、テープカット後、オープンを記念して、美作高校吹奏楽部の演奏、高知県人会のよさこい、沖縄県人会のエイサーなど大学生・高校生によるパフォーマンスを行い、開店に華を添えました。「みまっばふらざ」は多くのお客さんで賑わい、学生と地域の方々が楽しそうに会話をする姿がみられました。



### 学生がオリジナルの商品、メニューを提供!

ものづくりサークルが製作したアクセサリー等の手芸品を販売、軽食、カフェコーナーでは、食品加工サークル手作りのケーキやコーヒー研究会によるこだわりコーヒー等学生が考案したメニューを販売します。



< コーヒー研究会 >



< オープン日に販売されたみまっばサンド >



< ものづくりサークルの手芸品 >



< 楽しく接客する学生たち >



### 学生出身県の特産品を販売する “ご当地フェア” を開催

中国四国地方、沖縄出身の学生が多く在籍している美作大学ならではの企画で、津山市にいながら様々な県の特産品を楽しんでいただき、学生たちは故郷をPRしながら地元への貢献につなげます。



### 知的財産を活用し地域と大学の交流の場に

高齢者対象のリラクゼーション、食育講座、子育て相談等、本学が専門とする「食」「子ども」「福祉」の分野に関する住民参加型の講座を開催します。

### 学生によるパフォーマンスの披露

美作大学沖縄県人会、高知県人会、ダンスサークルによる伝統舞踊やダンスの披露、美作高校吹奏楽部による演奏や作品展示会等を行い、お店を盛り上げます。



### みまっばふらざの営業について

木曜日～日曜日までの午前11時～午後5時で、木曜日と金曜日は物販とカフェのみ営業、土曜日、日曜日に学生が店員を務め、イベント等を企画していきます。



みまっばふらざ

検索



第9回 経済産業省・文部科学省主催  
キャリア教育推進連携表彰 奨励賞受賞  
津山市内県立四高校連携による  
「地域創生学」  
～地域課題に「ONE TEAM」で取り組む～

**四校連携の特色**

- ・フィールドワークを通しての地域課題 発見解決型探究学習 (魅力発信)
- ・四分野の観点からアプローチ ・津山市に対して提言を作成・高校生目線での提案

**四校連携の枠組み**



初日：考える基礎づくり

- ・基調講演 「地域でどう学べばいいのか」 ～地域を学ぶのではなく地域で学ぶ～ 岡山大学 前田芳男教授
- ・講義 「津山市の現状と課題」 津山市役所みらいビジョン戦略室
- ・グループエンカウンター OiBokkeShi 菅原直樹さん 演劇的手法による仲間づくり、表現法の習得

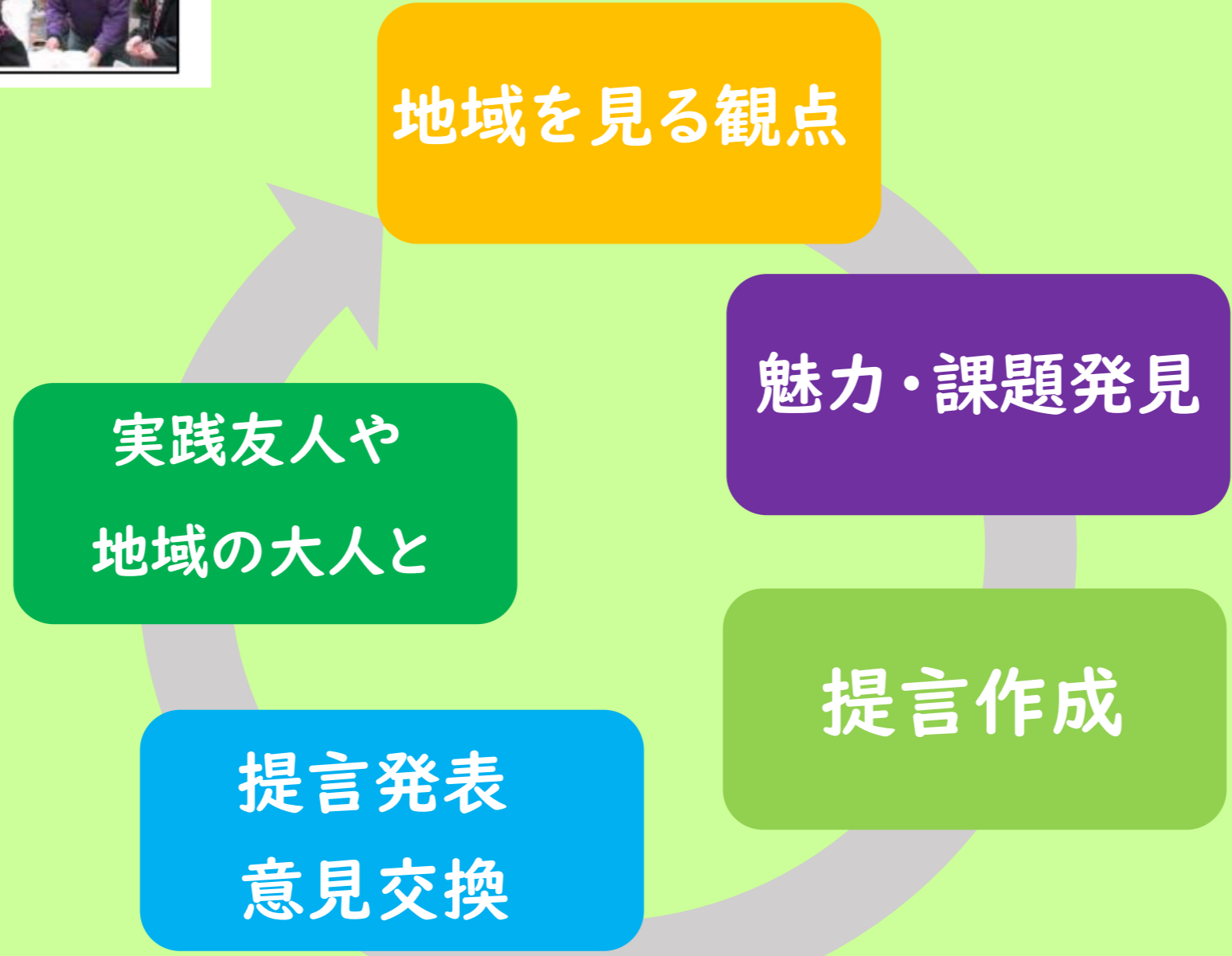
二・三日目：フィールドワーク

<産業分野>  
◆スマート農業、ステンレス加工会社、津山商工会議所へ取材  
⇒**これからの津山の産業**について

<福祉・医療現場>  
◆病院・公民館・市役所への取材  
⇒**地域の健康を守る**

<観光分野>  
◆環境協会・観光ボランティア・ホルモンうどん研究会への取材  
⇒**津山の観光資源と課題**

<教育・人材育成分野>  
保育所経営、自治協議会、大学教育学部への取材  
⇒**なぜ今、県北プログラムなのか**  
取材内容をまとめ、発表に向けて要点をまとめる作業へ→



四・五日目：提言に向けて

- ・「選ぶ」ではなく、「創る」
- ・「楽々」ではなく、「ワクワク」
- ・「大人の言葉」ではなく、「高校生の言葉」
- ・高校生に何ができるか・・・「ジブンゴト」

監修・全体指導：美作大学 准教授 武田英樹  
全体指導：OiBokkeShi 菅原直樹





# 防災士養成講座

～助けられる人から助ける人へ～

## 防災士養成講座の概要

近年、自然災害が目立ち地域で働く人材にとって防災の知識というのは非常に重要なものとなってきています。本学ではそのような状況に対応できる専門職人材を輩出すべく、防災士研修実施教育機関として認定を受け2020年度より全学科で「**防災士資格取得試験受験資格**」の取得を可能としました。

### 防災士の基本理念

防災士とは“自助”“共助”“協働”を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを、日本防災士機構が認証した人です。

1. 自助—自分の命は自分で守る。
2. 共助—地域・職場で助け合い、被害拡大を防ぐ。
3. 協働—市民、企業、自治体、防災機関等が協力して活動する。

### 防災士養成プログラム

～講義内容～

- A 「災害を知る」**
  - ◆ 近年の主な自然災害
  - ◆ 災害関連情報と予報・警報
  - ◆ 災害医療とところのケア

など
- B 「災害に備える」**
  - ◆ 行政の災害対策と危機管理
  - ◆ 避難所の設置と運営協力
  - ◆ 防災訓練

など

## 防災士資格取得・認証の流れ

#### 防災士養成講座の受講

講座の受講

受講修了証

防災士試験の受験、合格

防災士試験合格

#### 救急救命講習の受講

日本防災士機構が認定する講習  
⇒修了証の発行

過去に同様の講習を受講している場合、その修了証も有効です。  
(但し、防災士の認証登録申請時に5年以内に発行されたものであって、かつ、その講習の発行者が定めた有効期限内のもの)

救急救命講習 修了証

#### 「防災士認証登録申請」を行う

「①防災士養成講座修了証」(写し)  
「②防災士試験合格通知」(写し)  
「③救急救命講習修了証」(写し)  
以上3点を添え、日本防災士機構に「防災士認証登録申請」を行います。

防災士として認証完了!

## 受講の様子【2020年度】

2020年9月1日(火)～9月11日(金)まで、大学1～4年・短大1～2年生の学生119名、教職員3名、一般受講生3名が受講しました。

<参加した学生からのコメント>

「防災と一口に言っても、心のケアなど学ぶことは多岐にわたります。自分が住む地域の人を一人でも多く守れるようになりたいです。」  
「現在目指している資格と、防災士の知識を兼ね備えて将来職場で活かしていきたいと思います。」などが寄せられました。





# 地方大学の雄を目指して 「教育の美作大」を支える 客員教授陣

～日本のリーダー達が美作大学に集結～

## 2020年度の客員教授について

本学では、地域を支えるために、広い視野を持ち、地域の暮らしの改善、向上をリードする人材を育成するため、本学の客員教授・准教授に以下の6名の先生に就任いただいています。

### 地方自治のリーダーによる「地方創生論」連続講座

地方大学の雄たらしとする美作大学の「地方のための人材育成」の強力な助っ人、増田寛也先生と片山善博先生は、2018年度後期から継続して、山田啓二先生と尾崎正直先生は2020年度に新たに就任されます。

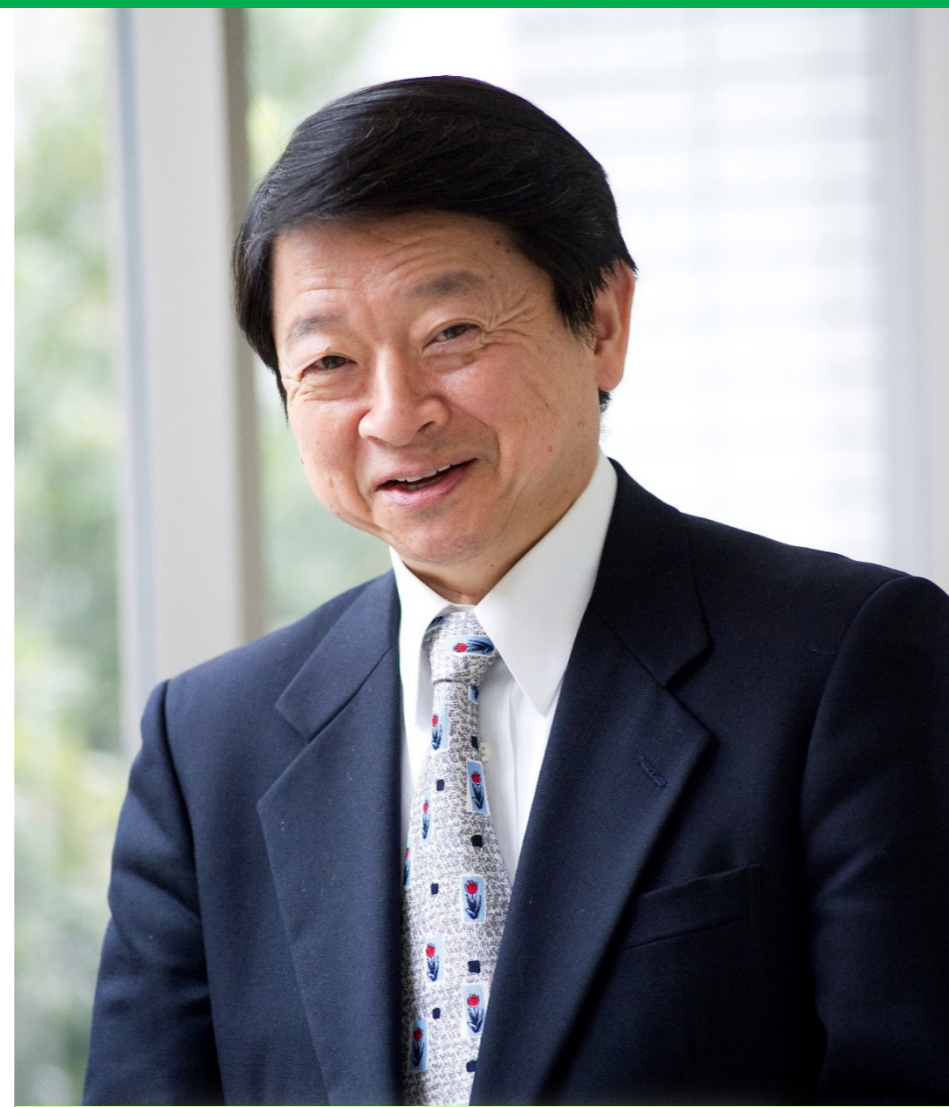
4名の客員教授には、地域の課題に応える広い視野をもち、地域の暮らしの改善、向上をリードする人材の育成をお手伝いいただき、一般教養科目『現代生活論』並びに美作地域人材育成プラットフォームの『地方創生論』連続講座の講師をご担当いただきます。

### 地方自治のスペシャリスト



**増田寛也 先生**

岩手県知事(3期)  
総務大臣など歴任  
現日本郵政社長



**片山善博 先生**

鳥取県知事(2期)  
総務大臣など歴任  
現早稲田大学教授



**山田啓二 先生**

京都府知事(4期)  
全国知事会長(4期)  
現京都産業大学学長補佐



**尾崎正直 先生**

高知県知事(3期)

### 日本を牽引する専門分野のリーダーによる最先端の講義・指導

ユニバーサルデザインと栄養分野において日本のリーダーとして活躍されている2名の客員教授・准教授による講義・演習により、専門分野の視野を広げていただきます。

### 各専門分野のスペシャリスト

**関根千佳 先生** (客員教授)

元同志社大学政策学部大学院総合政策研究科教授情報のユニバーサルデザインをめざす株式会社ユーディット会長  
担当科目:『情報のユニバーサルデザイン論』(社会福祉学科)



**真壁昇 先生** (客員准教授)

関西電力病院(大阪)疾患栄養治療センター室長  
担当科目:『高齢期栄養学演習』  
『臨地実習事前事後指導』(食物学科)





# 美作大学のCMからSDGsヒーローが誕生！

## ミマダイインヒーローショーで SDGs啓発活動

～「地産地消の推進」「食品ロス削減」「早寝早起き朝ごはん」～

### 「地域貢献ミマダイイン」とは何者か？

ミマダイインは、特別な力を持った選ばれし者が変身するヒーローではなく、美作大学の学生たちの「困っている人を助けたい」「大切な人を守りたい」という強い思いが、彼ら彼女らの内なるヒーローの力を覚醒させる。つまり、美作大学に通う誰もがミマダイインに変身できるポテンシャルを秘めているのだ。「食」「子ども」「福祉」のスペシャリストとしてのスキルと、地域の人々をこよなく愛する熱いハートを胸に、みんなを輝く未来へと導くヒーロー。それが、ミマダイインである。

### 2021年 TVCMから誕生！

2021年度のCMは「地域に貢献するヒーローを養成する大学」をコンセプトに製作を進め、誕生したミマダイイン。おなじみのCMソング「保育士♪」「社会福祉士♪」「管理栄養士♪」「教師♪」に合わせて、ミマダイインが変身しました。

### 大学を飛び出しSDGsヒーローショー～ちびっこたちへ啓発活動

ミマダイインヒーローショーの内容はSDGsをPRするもので、「地産地消の推進」「食品ロス削減」「早寝早起き朝ごはんの習慣づけ」という内容です。これらを邪魔しようとする悪役をミマダイインがやっつけるというストーリーです。ミマダイインが負けそうになると子どもたちが熱い声援を送ってくれます。最後は司会のお姉さんも加わり、ミマダイインのテーマソングにのせたダンスを披露し、大盛り上がりでショーは終わります。



中央かめっこ保育園  
(久米郡美咲町)



美作大学附属幼稚園  
(津山市北園町)



真庭あぐりガーデン  
(真庭市中)



イオンモール津山  
(津山市河辺)



みまばぱらざ前  
(津山市京町)

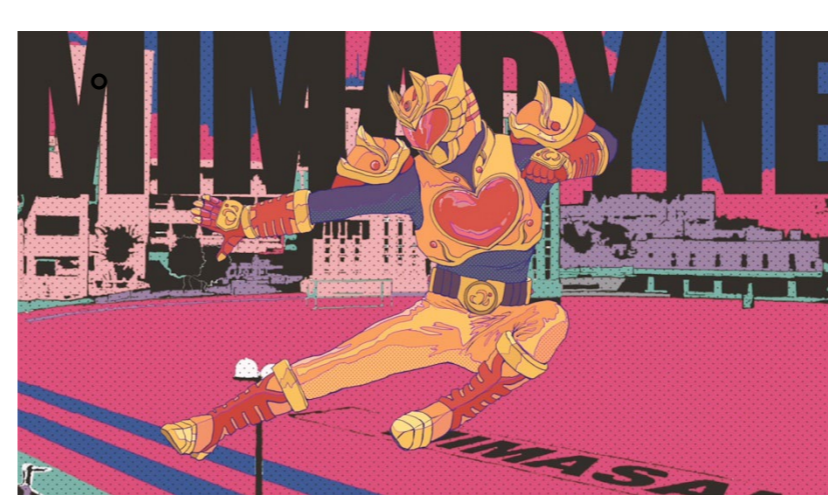


旭保育園  
(久米郡美咲町)

### 大学を飛び出し、YOU TUBE（ユーチューブ）に登場



美作大学のSDGs推進活動を紹介する動画に出演しています。ミマダイインが一生懸命、活動紹介していますので、ぜひ見てみてください。



ヒーローショーで大人気な「ミマダイインのテーマ」もPVとともにYOU TUBEで見ることができます。

ミマダイイン

検索